教区新報 HOYOG

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650-0011　神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
（本願寺神戸別院内）
電話　神戸(078)341−5949(代)
［編集］　教区基推委広報部

2010. 9　165号

全国から仏青、神戸に
～新門様をお迎えして～

八月六日～七日にかけて「二〇一〇全国真宗青年の集い　近畿大会 in 神戸」が神戸別院・神戸ポートピアホテルにて開催された。

今大会は近畿六教区（滋賀・京都・奈良・大阪・和歌山・兵庫）の共同開催であり、大会テーマを「FUTURE」として、四百名を超える真宗青年が神戸の地に集った。

初日は、神戸別院で仏青による親鸞聖人七五〇回大遠忌お待ち受け法要（音楽法要）が勤められた。

その後「みなと街さんぽ」と題し、ゴールを当日の宿泊・懇親会場であるポートピアホテルとして神戸市内を散策。夜七時からのディナーパーティー！交流会では新門様も交えて、全国より集まった参加者が親睦を深めた。

お勤めされる新門様、随行長の西脇総務

法要での新門様のお言葉（抜粋）「本日はようこそ神戸での全国真宗青年の集いへご参加下さいました。

ただ今、皆様とともにお勤めをいたしました宗祖讃仰作法音楽法要はこの度の大遠忌法要の為に新しく制定されました。

本山で四月よりの法要の各期間の後半において、また八月は全国真宗青年の集いの翌日にこの音楽法要をお勤めすることとなっております。ぜひ来年も真宗青年の集いにご参加いただき、そして本願寺の御影堂でこの音楽法要をご一緒にお勤めしたいと思います。

さて、本日よりのこの真宗青年の集いはFUTUREということをテーマにして開催されます。将来のことを考えると、とても先のことのように思うかもしれませんが、今日、明日、明後日という一日一日の積み重ねが将来であります。

今日、どうやって過ごしていくのか、そのことによって将来私がどの様になっているのか、ということが決まっていくのではないでしょうか。

今日、明日の大会を通して、私たちにとって浄土真宗のみ教えをより所として生活をしていく、生きていく、その人生の将来をぜひ考えていただきたいと思います。

今日、明日のプログラムが皆様の今後の人生にとって有意義なものとなりますことを願っております。」

二日目は、ポートピアホテルにて朝のお勤めの後「みんなでしゃべれ場」と題して、より交流を深める為の意見交換会が行われた。大会終了後、解散時には名残惜しそうに会場を後にした参加者もおられた。

私の住む地域は、過疎化が進み１４０戸、人口３４０人の区になりました◆７年前は１８０戸、４５０人ほどですから大幅な過疎化です◆しかし、区内には拙寺を含め３カ寺があります。７年前に寺の坊さんは時間があると思われたのか、区長になりました。この間、子供の減少で小学校はなくなり、町から子供の声が聞こえません。高齢者率は40％を超えました。区内での行事はいつも変わらない高齢者が集まります◆この現象は地方の寺院を取り巻く現状のようです。区内の行事には寺の法務をやりくりして参加します。子供会、老人会総会、地域ミニデー、ゴミ回収、秋祭りと屋台、クリスマス会などなど。お寺の年2回の行事はご門徒だけの参加です。次期区長を毎年お願いしますが、なかなか決まりません◆浄土真宗の教章の結びに「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」とあります。過疎化寺院の報告です。

朝来組 唯念寺 柴田一明

教区だより　9月・10月

9月

2（木）但馬地域組画編成公聴会　みふね会館　13:30
3（金）アプサラス練習会　神戸別院　13:30
4（土）第一土曜仏教講座　藤岡道夫 師（山口県岩国市大光寺）　神戸別院　13:30
6（月）青僧会役員会　神戸別院　16:00
7（火）岡山地域組画編成公聴会　ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル　15:30
7（火）別院仏婦定例法座（兵庫教区 山本浄彦 師）神戸別院　13:30
8（水）仏婦単位会長研修　神戸別院　10:00
8（水）特法協研修会　神戸別院　14:00
8（水）西播ブロック聞法会　赤穂北組 慈眼寺　13:00
9（木）第2回キッズサンガサポーター研修会　神戸別院
11（土）丹波地域組画編成公聴会　氷上西 西光寺　14:00
14（火）阪神・神戸地域組画編成公聴会
15（水）常例法座（兵庫教区 松藤誠哲 師 16日まで）神戸別院　13:30
16（木）千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要～18日まで　千鳥ヶ淵戦没者墓苑
16（木）別院仏壮集い　神戸別院　10:00
22（水）秋季彼岸会（滋賀教区 宇野哲哉 師 24日まで）神戸別院　13:30
29(水)～30(木)　第3連区布教使研修会　ホテルフジタ奈良　13:00
30（木）兵庫教区・本願寺神戸別院親鸞聖人750回大遠忌法要並びに別院改築落慶奉告法要　神戸別院　13:30

10月

1（金）兵庫教区・本願寺神戸別院親鸞聖人750回大遠忌法要～3日（前期）　神戸別院　12:30
5（火）兵庫教区・本願寺神戸別院親鸞聖人750回大遠忌法要～10月8日まで（後期）　神戸別院　12:30
16（土）別院仏壮集い　神戸別院　10:00
17（日）総代会東播ブロック研修会　加西市民会館　10:30
19（火）総代会西播ブロック研修会　上月文化会館　10:30
22（金）総代会姫路ブロック研修会　姫路中 法性寺　10:30
24（日）門推第50回研修会　網干組 政源寺　10:30
25（月）総代会但馬ブロック研修会　出石組 福成寺　10:30
26（火）総代会丹波ブロック研修会　氷上西 正福寺　10:30
31（日）総代会阪神・神戸ブロック研修会　神戸別院　10:30

夏学校開校！
～第四十七回サマースクール～

七月二十六日から一泊二日の日程で、教区少年連盟によるサマースクールが開校された。

今年は「モダン寺に行こうよしんらんさまに学ぶ」をテーマとし、今年の九月三十日から教区・別院の大遠忌法要が勤まる本願寺神戸別院（愛称：モダン寺）を会場として、スタッフ含め百名を超える参加者となった。

初日の目玉は港街神戸らしく、クルーザーをチャーターしてのディナークルーズ。生まれて初めて船に乗る子どもをはじめ、海から眺める神戸の夜景・六甲の山並に、子ども達は目を輝かせていた。

二日目は、親鸞聖人の一生を学ぶ班活動がメインプログラムとなった。

午前中は、親鸞聖人に扮した少年連盟スタッフによる朗読劇の観賞や、親鸞聖人に関するクイズを解いて、聖人のご一代を勉強。午後には各班に分かれてのスタンツ（寸劇）の披露があり、子ども達はみな、緊張しながらもそれぞれの味を出しながら劇を演じきった。

今回初参加の若狭朋実さん、前川由佳さん、小西響さんの三人は「ディナークルーズやアイスクリーム作りが楽しかったし、寝る時もとても楽しかった。また来年も来たいです」と話した。

乗船前の救命具の説明風景

教区・別院大遠忌いよいよ迫る！

ご本山での「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」を目前に控え、兵庫教区・神戸別院での大遠忌法要の期日がいよいよ迫って参りました。

五十年に一度のご勝縁であり、ご門主様のお心である、現代社会に応える宗門を築き、「ただ念仏のみぞまことにておはします」とおっしゃった聖人のお念仏の教えを次代に受け継いでいく決意を新たにする、この度の法要です。

各寺院ご住職をはじめとし、多くの門信徒の皆様のご参拝をお待ちしております。

【法要日程】

◆前期／平成二十二年九月三十日（木）～十月三日（日）
◆後期／平成二十二年十月五日（火）～十月八日（金）
※九月三十日（木）につきましては、教区内役職者・住職等のご参拝となり別案内となりますことご了承願います。
※法要に関するお問い合わせは兵庫教区教務所まで◆℡：〇七八（二二四）五九四九

敬弔

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

加藤亮璋（阪神東組安樂寺前住職）平成二十二年七月十九日九十七歳
兼松博信（高砂組西立寺住職）平成二十二年七月二十二日八十四歳
大西信之（高砂組覚正寺住職）平成二十二年七月三十日六十歳
中山峯佳（播磨中組教覚寺住職）平成二十二年七月三十日八十七歳
華廣りゑ子（神戸東組法覚寺坊守）平成二十二年八月十五日八十六歳

【敬称略】

八月十五日現在

同朋運動推進の事前学習会

「平成二十二年度兵庫教区『組ブロック別同朋講座事前学習会』が「同朋講座における差別発言事件からの学び～私なら～」と題し、教区を五ブロックに分けて七月中に開催された。

十三日の東播ブロックをはじめに、二十一日に丹波・但馬、二十六日に阪神・神戸、二十七日に西播・岡山、二十九日に姫路で、組長・組相談員・組同朋講座講師・組同朋講座担当者等が参集して行われた。

昨年惹起した「同朋講座における差別発言事件」の対応要綱の策定を受け、組同朋講座で宗門や教区が育成した組同朋講師が差別発言をした問題を深く受け止め、今年度の組同朋講座をこの事件を正面に取り上げ各組で研修して頂きたい。

組同朋講師だけが事前学習をするのではなく研修会を主催する側が事前学習をすることで、事件の問題点の確認やお互いが研修会の場で指摘や訂正がし合える様な体制を整えていく為のものです。

事件の問題点や課題を共有していくことで自らの差別性に気づき、差別をなくしていくために参加者一人ひとりがその為の取り組みをしていくことが大切なことと考えております。

研修内容は「対応要綱に基づく教区・本山の取り組み説明」を本山の基幹運動推進相談員が説明し、その後「話し合い法座」「班別発表・全体協議会」が行われた。

詳しい内容については、「宗報」（五月号に掲載）の人権情報誌『サットバVOL 26』の「兵庫教区同朋講座における差別発言事件の対応の概要について」をご覧いただくことになります。

事件の問題点

※①～⑨はサットバ八頁

中央相談員は説明の中で、事件の概要を確認し、九項目挙げられた問題点について、①～⑤の問題点については、今回の差別発言事件行為者の発言についての問題点とし、被差別地域や被差別部落という言葉そのものを発言することが差別発言になるのか？また、地名や具体的な名前を語ることそのものが差別発言となるか？という事について説明された。

被差別部落の実態を学んでいくという事の中で、また歴史的な経緯を学習の中で特定した地名や具体的な名前が語られなければ学習が出来ない場合があることを説明した上で、今回の発言の場合、テーマ「平和問題」であり、その中で、お念仏を喜んでおられる熱心なご門徒さんの事を例話として、リアリティの伝わるように話そうとして「被差別地域の」と前置きをした上で実際の地名や寺院名を出して発言されたものでした。しかしながら部落差別をなくしていくという形で話しておられませんでした。

結果として被差地域の出身者であると実際の地名や寺院名を挙げて名ざしした発言となりました。

また「被差別地域の」と前置きして熱心なご門徒さんの事を話すという事に、差別に繋がる内容となっていることです。被差別地域という言葉や寺院名を出したことが直ちに差別であると指摘しているわけではないのです。

⑥～⑨の問題点は、この事件をめぐって関連する問題点として説明されました。その中の⑥については、講師だけでなく同朋講座に参加する者の姿勢として、お互いに指摘し合い正しあっていける研修会にしていくことで傍観者であったかもしれない自分自身への気づきが同朋運動への取り組みには重要な課題になっています。

学習会の様子、姫路ブロック

班別発表・全体協議会

「班別発表」では、本山・教区の講師養成・任命のあり方が厳しく問われた上で、同朋講師・僧侶としてある筈のない発言、生身の人間の問題として同朋運動に取り組んでこられたのかなど行為者への指摘、研修自体が知識的なものではなく研修から運動へというような動きがなければと言う意見、同朋講座において本音で語り合えていたのかなどその場で指摘できなかったことを通して「私なら・・・」できたろうか、などの様々な意見を頂きました。

しかし、著名な講師であるとか、その場の状況から指摘や訂正が難しいというのではなく、指摘や訂正が参加者や主催者側から普通にできるような研修会にしていくことの必要性が話し合われた。

また、「全体協議会」では講座参加者の減少や固定化・僧侶一人ひとりが日ごろの法務や生活の中でも、差別や人権問題への意識を持ち行動して行く事の大切さ、僧侶である私達のほうが人権や社会問題に対して取り残されているのではという意識をもって同朋運動に取りくまなければならいとの意見が出た。

具体的な取り組みとして同朋運動を推進し差別をなくしていくための決議や声明を教区・組から出すなどの行動に出る。講師の任命・養成についての要望があった。

最後に今回の学習会を通して教区からの資料提供・配布などの要望があり、人権情報誌『サットバVOL 26』のヌキ刷りを教区で作成し必要部数を送付する事となりましたのでご活用ください。

新坊守・坊守後継者の集い開催

茶話会の様子

七月十二日、兵庫教区・神戸別院大遠忌長期計画の一環である、新坊守・坊守後継者の集いが開催された。第四回となるこの度の集いには、二十九名が参加した。

集いでは午前のプログラムに大村英昭師（関西学院大学社会学部教授）をお招きし、「四十億年にただ一度　縁（えにし）の不思議」と題して講演を頂いた。

講演では、教区教学テーマ『現生正定聚』について阿弥陀経より『倶会一処』のご文を、そして親鸞聖人ご消息より『この身は、いまは、としきはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんずれば、浄土にてならずかならずまちまゐらせ候ふべし』とのご文を引用なされ、現生正定聚について「浄土にてならずかならずまちまゐらせ候ふべし」とある様に、最後の降りたところにぴしっと定まっている、人生の終極点がさだまっており、そしてその後どうさしていただけるかということ…。いのちの故郷へ必ずみんな同じところへ帰っていける安心感。それに基づいて、そしてそれは如来様の願いのもとにあった、という…。などと話された。

午後からは、「法式の基礎」と題して講義が行われ、浄土真宗本願寺派の正しい仏具の荘厳や、それぞれの仏具の説明などの基礎的な内容から、お仏壇を安置する意義やお仏壇にお参りすることがなぜ大切なのか？といった身近でありながら大切なポイントについての話があり、参加者は興味深く話に聞き入っていた。

その後、少人数の班に分かれ、お茶とケーキを頂きながらの茶話会が開かれた。新坊守・坊守後継者としての活動や悩み、坊守が得度することについて不安や、思い、また、新坊守・坊守後継者対象の研修会をもっと行って欲しいなど、活発な意見交換が行われた。

新住職にエール！

～新住職就任祝賀の集い開催される～

抱負を述べる小山新住職

七月七日、兵庫教区参与会「蓮華会」・兵庫教区教務所主催による『兵庫教区新住職就任祝賀の集い』が神戸別院並びに、神戸ポートピアホテル（参与会員）にて開催された。

第一部の記念講演では、釈徹宗師（相愛大学教授／大阪教区豊島北組如来寺）をご講師に迎え、「六字のみ名を称えつつ」と題してお話を頂いた。

お話では、世界の仏教の共通点を挙げられた後、浄土真宗の特徴を話され、その中でも特に「真宗宗歌」を取り上げられて、その意味合い、味わいを話された。

第二部では会場を神戸ポートピアホテルに移しての懇親会が開かれた。懇親会では開宴の挨拶、祝辞に続き、新住職より一言ずつの挨拶があり、コール花による音頭披露が、宴に花を添えた。

新住職就任者（平成二十一年度）は次の通り◆菅正二／阪神西組乗誓寺◆前川隆哲／神戸湊組尊光寺◆脇坂弘暢／姫路中組光源寺◆小山信行／氷上西組光安寺◆中原昭俊／阪神東組専正寺◆副高朗／神戸東組西念寺◆長澤正澄／阪神東組覺圓寺◆高坂啓道／姫路西組光瑞寺◆森川晋乗／神姫組常徳寺◆髙橋正章／神戸中組照善寺◆中西慎二／岡山北組大法寺◆大勢智信／網干組圓通寺◆辻岡眞澄／高砂組教徳寺◆河原顕誓／阪神西組円徳寺◆杉浦真／播磨中組専徳寺◆瑞穂進介／阪神南組常念寺◆旭香奈子／揖龍東組福正寺◆鷲谷晋教／佐用組光乗寺◆山内憲誠／神戸東組安楽寺◆川島義一／出石組専福寺◆渚久人／揖龍東組善導寺◆楳泉元崇／阪神南組妙光寺◆二階堂弘／神明組正徳寺◆井上和也／姫路西組善正寺◆肥塚義徳／宍粟組光泉寺◆柴田泰之／朝来組唯念寺◆武田直久／阪神東組善念寺◆小林義典／阪神北組称名寺◆渡邊昌人／赤穂南組光蓮寺